

第7章 岡山市水道局の組織と要員

提言

- 1 岡山市水道局の組織は13部署体制であり、更に課が係に細分化されすぎている。フラットな組織に改革する必要がある。
- 2 平成21年4月1日時点で、水道事業管理者に次いで、審議監、参事、次長が計9人、課長が10人、課長代理が14人、課長補佐が40人、係長が30人の長と名がつくものが計97人いて多過ぎるから名実ともに管理職である者を絞り、限定することを言い削減すべきである。

第1 職員数の推移

1 水道局の職員数

- (1) 岡山市水道局の職員数は第2章の表2-7記載のとおり、平成9年の413人から平成21年の375人に減少推移している。但し、総務省の公開資料では岡山市水道局の職員数は平成21年4月1日には375人でなく358人になっているなど、色々な数字が文献や資料に出てくるといふ市民にとって理解が容易でない点がある。

これを見ると岡山市水道局の職員数は、近年はほぼ変化がなく、総務省の通達が出されてからようやく削減の動きが強まったと評してもよいと考えられる。

- (2) 最近の職員数の推移は、次表のとおりである。

表7-1 水道局職員数 (単位：人)

	H19.4.1	H21.4.1	H22.4.1 上水道	H22.4.1 工業用水道	合計
【水道局】					
企画総務課	24	23	22	1	23
県広域水道企業団派遣	6	6	6		6
サービス公社派遣	23	6	2		2
経営管理課	16	15	14	1	15
管財課	19	19	17	1	18
営業課	16	14	11	1	12
お客様センター	46	41	36		36
給水工事センター	24	25	24		24
配水課	27	27	29	1	30
施設課	21	21	19	1	20
中水道センター	30	31	28	2	30
東水道センター	34	33	32		32
西水道センター	32	39	38	2	40
浄水課	64	61	57	6	63
水質試験所	15	14	13		13
水道局 合計	397	375	348	16	364

これをみると平成19年4月1日の397人が平成21年4月1日に375人になり、更に平成22年4月1日には364人に減少したとのことである。

- (3) ところが、平成22年7月9日時点の岡山市水道局のホームページでは、平成20年度職員数が385人、平成22年度が364人と表示されており上記の総務省のデータの360人とも異なる。

総務省のデータは、損益勘定職員が300人で資本勘定職員が60人の計360人という説明であり、また上記表では平成21年3月31日には375人という資料を岡山市水道局は提示するのであり、情報媒体もしくは説明の仕方によって職員の人数が異なり、市民には理解しにくいということが生じている。

人件費という観点からするとこのようなことは可及的に避ける必要があるし、特に広報担当部署は注意すべきである。

- (4) 平成 19 年から平成 22 年 4 月 1 日までの増減を検討すると、増えているのは配水課 3 人増、西水道センター 8 人増で、他の部署は総じて 1 ないし 2 人減少している。営業課とお客様センターを合計したものは 62 人から 48 人に減少しており、後記のとおり、この減少は当然であり更なる減少余地は大きい。

2 政令指定都市における水道部門の職員数

政令指定都市の水道部門の平成 21 年度の職員数の比較は、総務省の資料によると次表のとおりである。

表 7-2

政令指定 都市名	21.4.1 時点 職員数	19.4.1 時点 職員数	増減数	減少率 %	面積 k m ²	人口 21.3.31 現在
札幌市	637	691	-54	7.8	1,121.12	1,884,939
仙台市	423	451	-28	6.2	783.54	1,006,522
さいたま市	409	419	-10	2.3	217.49	1,198,996
千葉市	24	24	0		272.08	925,951
横浜市	1,778	2,011	-233	11.5	437.38	3,605,951
川崎市	680	742	-62	8.3	142.70	1,359,063
新潟市	356	392	-36	9.1	726.10	803,273
静岡市	176	174	+2		1,388.78	718,623
浜松市	199	212	-13	6.1	1,511.17	792,104
名古屋市	1,404	1,433	-29	2.0	326.45	2,173,945
京都市	854	911	-57	6.2	827.90	1,386,899
大阪市	1,915	2,075	-160	7.7	222.30	2,525,153
堺市	282	303	-21	6.9	149.99	835,492
神戸市	809	842	-33	3.9	552.23	1,508,200
岡山市	358	381	-23	6.0	789.91	687,136
広島市	665	668	-3	0.4	905.13	1,153,579
北九州市	372	388	-16	4.1	487.71	981,016
福岡市	557	581	-24	4.1	340.96	1,384,820

上記表によると、平成 19 年から平成 21 年までの 2 か年間では、千葉市が変化なく、静岡市が 2 人増加した以外の政令指定都市では、広島市の 0.4% 減から横浜市の 11.5% 減まで、いずれも減少している。

岡山市は 358 人とあるが、これは損益勘定職員と資本勘定職員の合計として総務省に申告している数字と推認される。岡山市の数は、静岡市、浜松市、新潟市などと比較しても多いことがわかる。

第2 職員の年齢、学歴及び専門性

1 水道局職員の年齢、勤続年数

41歳から45歳の層が最多であり平均年齢も41歳台となっている。

表7-3 上水道

(平成22年3月31日現在)

(単位：人、%)

職種 年齢	事務職員		技術職員		計	
	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率
21歳未満						
21～25	1	0.7	2	0.9	3	0.8
26～30	14	9.7	16	7.5	30	8.4
31～35	21	14.6	47	22.0	68	19.0
36～40	30	20.8	39	18.2	69	19.3
41～45	34	23.7	46	21.5	80	22.3
46～50	17	11.8	26	12.1	43	12.0
51～55	12	8.3	22	10.3	34	9.5
56～60	15	10.4	16	7.5	31	8.7
計	144	100	214	100	358	100
平均年齢	42歳4月		41歳9月		42歳0月	
平均給料 (本俸)	338,830円		337,320円		337,928円	

表7-4 工業用水道

(単位：人、%)

職種 年齢	事務職員		技術職員		計	
	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率
21歳未満						
21～25						
26～30	1	14.3	1	10.0	2	11.8
31～35	1	14.3	1	10.0	2	11.8
36～40	2	28.5	4	40.0	6	35.3
41～45	1	14.3	2	20.0	3	17.6
46～50						
51～55	1	14.3	2	20.0	3	17.6
56～60	1	14.3			1	5.9
計	7	100	10	100	17	100
平均年齢	41歳7月		41歳0月		41歳3月	
平均給料 (本俸)	337,897円		329,246円		332,808円	

年齢的には岡山市の水道部門の職員は他都市と比較して若いことは第7章で説明している。

2 技術職員について

職員には事務職員と技術職員がいるが、内訳は次表のとおりである。

職員の学歴は大卒が多く、理、工学部関係の学部の卒業者もいるが建築士はいない。

岡山市提供の資料によると、技術職員が保有している資格は次表のとおりである。

表 7-5 資格者数（技術職員） 平成 22 年 3 月 31 日現在

資格名称	人数
◆ 建築施工管理技士	1 級 1
◆ 土木施工管理技士	1 級 2 級 15 13
◆ 管工事施工管理技士	1 級 3
◆ 建築設備検査資格者	1
◆ 測量士	6
◆ 測量士補	16
◆ 電気主任技術者	第 2 種 第 3 種 1 19
◆ 電気工事施工管理技士	1 級 1
◆ 水道技術管理者 水道技術管理者(有資格者)	1 200
◆ 布設工事監督者(有資格者)	152
◆ 安全管理者	9
◆ 衛生管理者	5
◆ 防火管理者	9
◆ 電気工事士、特種電気工事資格者	第 1 種 第 2 種 11 17
◆ 高圧ガス製造保安統括者	保安係員(丙種) 2
◆ 特定高圧ガス取扱主任者	1
◆ 消防設備士	甲種 1
◆ 危険物取扱者、危険物保安監督者	甲種 乙種 丙種 6 57 21
◆ 作業環境測量士	第 1 種 1
◆ 産業廃棄物処理責任者	2
◆ 産業廃棄物処理施設の技術管理者	5
◆ 放射線取扱主任者	第 1 種 1
◆ 特殊無線技士	第 1 級陸上 第 2 級陸上 第 3 級陸上 1 1 14
◆ 電気通信工事担当者関係	アナログ第 3 種 1
◆ ボイラー取扱作業主任者	2 級 技能講習修了者 8 2
◆ ガス溶接作業主任者、ガス溶接技能講習修了者	12
◆ フォークリフト、ショベルローダ運転技能講習修了者、 デリック運転士	7
◆ クレーン運転士、床上操作式クレーン運転技能講習修了者	51
◆ 玉掛け技能講習修了者	94
◆ 石綿作業主任者	51
◆ 特定化学物質等作業主任者	76
◆ 酸素欠乏危険作業主任者	184
◆ 乾燥設備作業主任者	2
◆ 有機溶剤作業主任者	17
◆ 特別管理産業廃棄物管理責任者	4
◆ エネルギー管理員	5
◆ エネルギー管理士	4

◆ 技術士		2
◆ 技術士補		14
◆ 配水管技能者	(一般継手) (耐震継手)	25 34
◆ 給水装置工事主任技術者		26
◆ 給水装置工事配管技能者		11
◆ 水道施設管理技士	1級 2級 3級	1 1 3
◆ 公害防止管理者(水質関係)	第3種	1
		1,229

これらの資格の中で難易度が高度なものは技術士である。資格の点は特殊勤務手当との関連の項目で検討している。なお、情報システムの管理に関して専門家の有無を問題としたところ、後日になってその関係の資格者がいるという説明があった。

3 部署と配置職員数

13の部署に配置されている職員の数と内訳は次表のとおりである。

表 7-6

平成 21 年 4 月 1 日現在

部署名	事務職員	技術職員	職員数計
【水道局】			
企画総務課	29	6	35
経営管理課	15	0	15
管財課	15	4	19
営業課	14	0	14
お客様センター	37	4	41
給水工事センター	5	20	25
配水課	4	23	27
施設課	11	28	39
中水道センター	2	19	21
東水道センター	4	27	31
西水道センター	9	24	33
浄水課	5	56	61
水質試験所	1	13	14
水道局 合計	151	224	375

注 1 統括審議監、参事は企画総務課に、営業担当審議監は営業課に、配水担当審議監は配水課に、水道センター担当審議監、中・東水道センター担当次長は中水道センターに含む。

注 2 企画総務課に岡山県広域水道企業団（事務 3、技術 3）及び(財)岡山市水道サービス公社(事務 3、技術 3)への派遣を含む。

第 3 岡山市水道局の部署について

1 13 部署体制

岡山市水道局の組織は、平成 21 年 4 月 1 日では次表のとおり 13 部署体制である。また、課が係に細分化されているが、このように細分化する必要性は乏しくフラット

な組織に改める必要がある。

水道事業管理者に次いで、審議監、参事、次長が計9人、課長が10人、課長代理が14人、課長補佐が41人、係長が30人の長と名がつくものが計104人いるが、審議監、参事、次長の内、ラインに位置しているのは企画総務課、配水課、西水道センター担当の計3人で(この3部署には課長はいない)、残りの6人はラインに位置付けられていない。

ある参事は「企画・行革担当」であり、ある審議監は「配水担当」で水道技術管理者ということである。

いずれにしても、課及び係の数が多く、「長」という役職者が多いことに気付く。名実ともに管理監督者の職責にあるものを限定し整理する必要がある。

(平成21年4月1日現在)

表7-7 職員配置表

(単位：人)

所 属	職 名	審 議 監 ・ 次 長	課 長	課 長 代 理	課 長 補 佐	係 長	主 査	主 任	主 事	技 師	計
水道局											
企 画 総 務 課		3		2	3		3	5	1		17
	総務係					1		2	3		6
	企画広報係				1			3	2		6
	職員係				1			5			6
	小 計	3		2	5	1	3	15	6		35
経 営 管 理 課			1		1						2
	会計係					1		2	2		5
	財務係					1		2	1		4
	情報管理係					1		1	2		4
	小 計		1		1	3		5	5		15
管 財 課			1	2	1						4
	管財係					1		4	1		6
	契約係					1		5			6
	検査係					1		2			3
	小 計		1	2	1	3		11	1		19
営 業 課		1	1	1	1						4
	営業係					1		2	1		4
	料金管理係				1			4	1		6
	小 計	1	1	1	2	1		6	2		14
お セ 客 ン 様 タ ー 			1	1	4						6
	受付係				1		1	13	3		18
	料金係					1	1	8			10
	灘崎出張所				1		1	1			3
	瀬戸出張所				1			3			4
	小 計		1	1	7	1	3	25	3		41
セ 給 ン 水 タ 工 事 			1	1	2						4
	業務管理係					1		2	1		4
	給水管理係					1	1	3		1	6
	給水工事係					1	1	5		4	11
	小 計		1	1	2	3	2	10	1	5	25
配 水 課		2		1	2						5
	業務管理係					1		2			3
	工事管理係					1		3		1	5
	計画係					1		4		1	6
	配水係					1		4			5

	鉛管対策係					1		2			3
	小計	2		1	2	5		15		2	27
施設課			1	1	1						3
	業務管理係					1		1			2
	施設係					1		6		2	9
	設備係					1		5		1	7
	小計		1	1	1	3		12		3	21
セ中 ン水 タ道		2	1		3						6
	業務管理係					1		1			2
	工事第1係					1	1	3	1	2	8
	工事第2係				1			5		2	8
	維持係				1		1	4		1	7
	小計	2	1		5	2	2	13	1	5	31
セ東 ン水 タ道			1	1	2						4
	料金係					1	2	1	2		6
	工事第1係					1		3		3	7
	工事第2係				1			5		2	8
	維持係				1			5	1	1	8
	小計		1	1	4	2	2	14	3	6	33
セ西 ン水 タ道		1			2						3
	料金係					1		4	1		6
	工事第1係					1	2	4		1	8
	工事第2係					1	1	5		1	8
	維持係				1			5		1	7
	北水道事業所			1	1		1	4			7
	小計	1		1	4	3	4	22	1	3	39
浄水課			1	3	3						7
	業務管理係				1			1	1		3
	整備係				1			2		1	4
	三野浄水係					1	1	14		4	20
	北浄水係					1		4		1	6
	旭東係				1	1		1		1	3
	配水制御係							8		9	18
	小計		1	3	6	3	1	30	1	16	61
	水質試験所		1		1			9	1	2	14
	計	9	10	14	41	30	17	187	25	42	375

2 各部署の所管事務

平成22年4月1日時点では各課の業務は次表のとおりであると、ホームページで公表されている。13課・所、1事業所 43係・出張所 364人（管理者除く）である。

記

各課の業務内容

〈平成22年4月1日現在〉

企画総務課	局全体の調整、法制、人事、局の組織、事務改善、広報、統計、研修、給与、福利厚生、日本水道協会に関する事務など
経営管理課	予算、決算、支出の審査、金銭の出納、電算機の活用・管理など
管財課	財産管理、物品・工事の入札・契約、工事の検査・審査など
営業課	料金体系の研究、電算機による料金事務など
お客様センター	水道の使用開始・中止の受付、水道に関する各種問い合わせの受付など
給水工事センター	給水装置工事、貯水槽水道の指導、指定給水装置工事事業者の管理など

配水課	水道事業の計画・漏水防止・鉛管解消事業など
施設課	浄水場・配水池・ポンプ場の設計など
中水道センター	配水管の設計・施工・維持管理など
東水道センター	配水管の設計・施工・維持管理、水道料金の収納など
西水道センター	配水管の設計・施工・維持管理、水道料金の収納など
浄水課	水道の浄水処理、配水制御など
水質試験所	水質の試験、調査研究、管理指導など

これらを見ると、管理という言葉が多用されていることがわかり、第 9 章で実態を検討している。